



<b>安原のいま</b>	総人口 4,374人 (前年比-85人) 【男 2,088人 女 2,286人】 安原地区公民館 〒390-0802 松本市旭2-11-13 TEL 0263-39-0701
--------------	--

「春色に包まれるソプラノコンサート」開催

春の訪れを感じさせる3月17日、安原地区公民館大会議室で、声楽家の室賀さえりさんの、ソプラノコンサートが開催されました。室賀さんは国立音楽大学教育音楽学科を卒業され、県内の中学校音楽教諭を経て、現在は大人から子どもまで楽しめる演奏活動



語りかけるように歌う室賀さん

今回はふれあい健康教室の事業としてお招きしたということもあり、懐かしの唱歌を中心に、ピアノとキーボードを演奏しながら、発声練習か

らご指導いただき、「春がきた」「花」「春の小川」「朧月夜」など、春の歌を中心に、参加者33人が合唱を楽しみました。合間には作詞者のエピソードが紹介されるなど、改めて唱歌の詩の美しさに気づかされ、曲への理解が深まりました。

後半はアカペラで唱歌とオペラ曲を独唱、春色のドレスを纏った室賀さんの、伸びやかな歌声と情感に溢れた表現力にすっかり魅了されました。

アンコールでは映画やドラマでも聴き覚えのある「アメイジンググレイス」を歌われ、その繊細で力強い歌唱力を堪能しました。

をしています。

「赤穂源蔵・徳利の別れ」は赤穂浪士銘々伝のひとつで、討ち入り前夜にそれと知らせず兄を訪ねた義士の、兄弟の絆の断。

張扇で調子を取って場面転換を図り、流れるように物語は進んでいきます。会場はシーンとなって皆が聴き入っていました。

テレビでは見たことあるけど生で見るとは初めて、という人がほとんどで、よい体験になりました。「声の抑揚や身振りで情景が浮かんで、すぐくわかりやすかった」との感想も聞かれ、江戸の世に思いを馳せ、心豊かなひとときを過ごすことができました。

「日本の古典芸能 講談」を聴こう！

すみれ亭香方さん熱演

3月7日、安原地区公民館で講師のすみれ亭香方さんに講談を2席演じていただき、26人が楽しみました。

すみれ亭さんは神田すみれさんの弟子で、松本市在住6年半。マネージャーでもある奥様と2人で「出前講談がんどき」として各地で公演しています。



熱演するすみれ亭香方さん

講談は江戸時代に発展した芸能で、当時の庶民の情報源のひとつでした。言ってみれば今のテレビのワイドショーみたいなもの。江戸の各町に寄席があり、人々はその中で事件や歴史上の出来事を面白おかしく語られるのを聴いてたそうです。

この日の演目は「徂徠豆腐」と「赤垣源蔵・徳利の別れ」です。

「徂徠豆腐」は元禄時代の大学者・荻生徂徠が貧乏長屋暮らしをしていたとき、親切な豆腐屋夫婦に助けられ、恩返しをした「情けは人の為ならず」の心温まる人情断です。

「赤垣源蔵・徳利の別れ」は赤穂浪士銘々伝のひとつで、討ち入り前夜にそれと知らせず兄を訪ねた義士の、兄弟の絆の断。

張扇で調子を取って場面転換を図り、流れるように物語は進んでいきます。会場はシーンとなって皆が聴き入っていました。

テレビでは見たことあるけど生で見るとは初めて、という人がほとんどで、よい体験になりました。「声の抑揚や身振りで情景が浮かんで、すぐくわかりやすかった」との感想も聞かれ、江戸の世に思いを馳せ、心豊かなひとときを過ごすことができました。

「いちよう並木 美男葛(ビナンカズラ)とも呼ばれるサネカズラ

サネカズラは、マツバサ科サネカズラ属の常緑つる性樹木です。サネカズラは17種あり、日本にはこの内の2種が生息しています。サネは実を、カズラはつるを意味し、「実を付けるつる」という名の通り、和菓子の子を連想させます。観賞用にもとても人気のある植物です。

サネカズラの茎をむしり水でよく溶くと、粘性のある液体ができます。昔の男性はこの粘液を整髪料がわりに頭にぬり、髪を整え花柳界にくりだしていたことから、サネカズラは別名美男葛とも呼ばれています。

8月ごろ花が咲き、冬になると実ができます。実付きをよくするためには、強い直射日光を避け、根本の乾燥には注意してください。

リン酸カリ肥料を与え、剪定もしっかりと行なってください。

赤い球体の実を付けるサネカズラ

「いちよう並木 美男葛(ビナンカズラ)とも呼ばれるサネカズラ

サネカズラは、マツバサ科サネカズラ属の常緑つる性樹木です。サネカズラは17種あり、日本にはこの内の2種が生息しています。サネは実を、カズラはつるを意味し、「実を付けるつる」という名の通り、和菓子の子を連想させます。観賞用にもとても人気のある植物です。

サネカズラの茎をむしり水でよく溶くと、粘性のある液体ができます。昔の男性はこの粘液を整髪料がわりに頭にぬり、髪を整え花柳界にくりだしていたことから、サネカズラは別名美男葛とも呼ばれています。

8月ごろ花が咲き、冬になると実ができます。実付きをよくするためには、強い直射日光を避け、根本の乾燥には注意してください。

リン酸カリ肥料を与え、剪定もしっかりと行なってください。

赤い球体の実を付けるサネカズラ

「いちよう並木 美男葛(ビナンカズラ)とも呼ばれるサネカズラ

サネカズラは、マツバサ科サネカズラ属の常緑つる性樹木です。サネカズラは17種あり、日本にはこの内の2種が生息しています。サネは実を、カズラはつるを意味し、「実を付けるつる」という名の通り、和菓子の子を連想させます。観賞用にもとても人気のある植物です。

サネカズラの茎をむしり水でよく溶くと、粘性のある液体ができます。昔の男性はこの粘液を整髪料がわりに頭にぬり、髪を整え花柳界にくりだしていたことから、サネカズラは別名美男葛とも呼ばれています。

8月ごろ花が咲き、冬になると実ができます。実付きをよくするためには、強い直射日光を避け、根本の乾燥には注意してください。

リン酸カリ肥料を与え、剪定もしっかりと行なってください。

赤い球体の実を付けるサネカズラ



赤い球体の実を付けるサネカズラ

ごあいさつ



旭町小学校 校長 林 淳子

この四月に、旭町小学校長として就任いたしました。歴史と伝統のあるこの旭町小に校長として迎えていただき、背筋の伸びる思いでおります。

また、私事で恐縮ですが、十四年前から五年間、担任としてもお世話になりました。今は立派に成人していただきます。



安原地区生活支援員 高山 一郎

本年4月付の松本市社協人事異動で、安原地区生活支援員として勤務することとなりました。

これまで、城東地区の担当兼生活支援員として、まちづくりのためにご協力させていただきました。

前にもサマーナイトフェスタや会食会に参加させていただき、地区の皆様には

る当時の子どもたちには、たくさんの方々のことを学ばせていただきました。保護者の方々や地域の皆様にも、温かく支えていただきました。

現在も変わらず、子どもたちは素直で優しく、保護者や地域の皆様にも様々な場面で支えていただいておりますことに、改めて感謝します。

皆様と一緒に子どもたちが安心して過ごせる学校をめざしてまいります。よろしくお願いたします。



大変お世話になりました。

これからも、安原地区の皆様との温かさを実感させていただきながら、通いの場などを通して、大勢の方々と顔の見える関係が築ければと思っております。

生活支援員として、高齢者を中心とした方々が、住みやすく、元気で幸せに暮らせる街になるよう地域福祉関係者の皆様とともに、微力ではございますが、お役に立ちたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

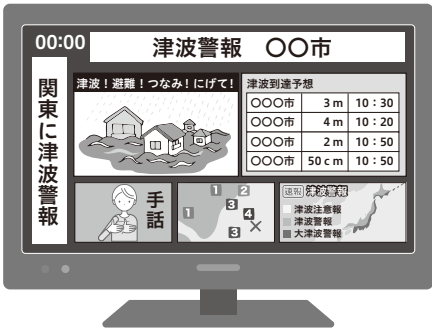
聴覚障がい者ど

災害



令和8年2月20日(金)、安原地区公民館で「災害時の聴覚障がい者と手話」と題した講座が開催されました。安原地区人権啓発推進協議会の主催、講師は社会福祉法人長野県聴覚障害者協会理事の上嶋太さんと、手話通訳の畑中さんが進めます。

講座では、ガラス越しに立つ人の絵を用いて、声が届かない状況でどのように意思疎通を図るかを考えました。この「見えているのに伝わらない」状態が、聴覚障がい者にとっての大きな障壁であると体験できました。



「より多くの人に伝わるように!」現在の速報画面

安原地区防災勉強会

「災害時初動活動の重要性」

2月28日、松本赤十字奉仕団安原地区分団の主催で昨年に引き続き2回目の防災勉強会が開かれ、松本市危機管理課・防災専門官の中村さんの防災講話がありました。

防災の目標は「命」を守ること。災害をなくすことはできないが、日頃からの備えなどの自助により、被害を減らすことはできます。安否確認・避難支援などの地域での共助の取り組みが、公助の限界とすき間を埋める大切な役割を担います。

災害関連死を避けるために自宅が安全であれば在宅失聴の原因は異なり、その方に応じた伝達手段があることも説明されました。14人の参加者は教えてもらった自分の名字を、初めて手話で自己紹介ができました。

災害時には、サイレンや呼びかけの声も届かず、情報が伝わり難くなります。特に聴覚障がい者の死亡率が高いデータも示されて、支援の重要性を学びました。

避難が勧められます。在宅避難者にも食料援助が受けられるようになっていきます。

講話後のグループディスカッションでは、安否確認は個人情報保護が関わるため難しい点があること、町会未加入者やアパートの住人の確認が取りにくく大変悩ましい問題であることなど、さまざまな意見が共有されました。災害が頻発する昨今、参加者はこの勉強会で更に防災意識が高まったようです。



民生委員

児童委員協議会

- ◎草深 邦子 (袋町、新町)
- 太田 智栄 (元原)
- 中島 恵子 (元原)
- 中田 茂 (元原)
- 佐藤 春香 (中原)
- 中山 良子 (中原)
- 丸山 善巳 (中原)
- 大塚 博子 (天白三)
- 早川 道子 (安原町、萩町)
- 大澤 静子 (旭町)
- 田中由美子 (両下町)
- 安坂紀会子 (主任児童委員)

◎:地区会長 ○:地区副会長 (カッコ内は町会)